

深浦会東京だより

第23号
深浦会東京事務局
〒154-0011 東京都世田谷区上馬4-23-7
トボス・M. 駒沢102
TEL 03-3418-0914
FAX 03-3422-0483

5月の連休は、深浦会東京祭りへ

深浦会ここに幸あり 故郷あり

会長 小野 秋夫



会長 小野 秋夫

原点に立ち返り、明日に向かつて飛躍を!!

原案に立ち返り、明日に向かつて飛躍を!!

会員の皆様にはお変わりありませんか。今年には例年になく厳しい寒さと豪雪に見舞われました。広報「ふかうら」(二月号)も、「高齢者宅の除雪をお手伝い」の見出しと写真入りの表紙でした。

春の訪れを今か今かと待ちわびる故郷の人々の心情を察するとともに、益々の健勝と活躍を祈念しているところであります。



▶ 昨年の総会の様子

深浦会の近況を報告するスライドショー、津軽三味線の演奏や手踊りが披露され、町出身力士の安美錦関、安壮富士関も駆けつけてくれました。新鮮な魚の刺身・久六島のサザエなど郷土色豊かなふるさとの味に舌鼓を打ちながら、ふるさとの思い出話にきれいな花をたくさん咲かせることができました。

深浦会の原点に立ち返



副会長 西崎 哲

豊かな心を つなぐ活気に包まれる

「深浦」のまちを目指して

深浦会東京の定期総会に寄せて

副会長 西崎 哲

白神の山々の芽吹きも近づき春の風が快い今日このごろ、深浦会東京会員の皆様におかれましては、各分野において益々活躍のご様子をお慶び申し上げます。

昨今の社会情勢を振り返りまして、ライフドア事件、マンション等の耐震構造偽装、防衛施設庁の官製餃子、米国産牛肉問題、さらに勝

ち組、負け組と格差社会問題など不安な毎日が続いている中、青森県内にもさまざまな課題が顕在化しています。米国の地球規模で推し進められている柱と位置付けている移動式早期警戒レーダー「Xバンドレーダー」の配備候補地として突如、つがる市の車力地区が浮上り議論を展開しており、地区住民をはじめ県民にも大きな不安が広がっております。

混雑とした情勢の中においても、先にイタリア「トリノ」で開催された冬季オリンピックフィギュアスケートにおいて金メダルを獲得し

ました。合併に伴って、組織活動の裾野が広がり、会運営の更なる活性化が求められています。

会員の皆様には、今一度、深浦町並びに、我が深浦会東京の財政的状況をお汲み取り下さいまして、今後共大きなご支援をお願い申し上げます。

連休は、ふるさとの味・ふるさとの人! 生まれた所が故郷ならば、育った所も故郷。今住んでいる所もまた、第二、第三の故郷と言えるかも知れませんが、年を重ねるごとに何故か「生まれた故郷」が恋しくなってきました。皆さんはいかがでしょう。

昨年十月の総会、交流会からまだ半年しか経っていませんが、第十四回総会・交流会は例年のように春の開催に戻すことになりました。

「深浦会東京」組織の財政基盤の確立については、総会開催の都度ご理解とご協力をお願いして来たところですが、今年度から年会費を二〇〇〇円に値上げさせていただきます。

興を興り、基盤づくりをした上で、それに連動させた、観光振興を図りたいと考えております。農業につきましては、消費者が求める食の安全に対応した安心できる作物の生産、漁業につきましては、近年大型クラゲの襲来により、被害も甚大であり、その影響もあり漁業不振が続いているところではありますが、防除用資材の一部を助成するなど、被害を最小限に食い止めるべく対策を講じております。

また、これからの町政全般に亘って施策を進めるにあたっては、行政の健全化を図ることが最も重要であることから「深浦町行政改革大綱」及び「行政改革中プラン」も策定し、より一層の経費削減に努め健全財政を図ることをしております。

私が深浦町もそれらを視野に入れた対策、施策を検討しており、今後、皆様のご協力をいただくこともあろうかと思っております。その際はよろしくお願ひ申し上げます。

今年度は、深浦町にとりまして実質的な施策を展開しなければならぬ重要な年であり、町政運営につきましては出来る限り、皆様に広く情報をお伝えし、相互理解と共通意識を持ち、様々な角度から「まちづくり」に向けて邁進してまいりたいと思っております。

最後にになりましたが、会員の皆様におかれましては、健康に留意され、今後益々の活躍を祈念することともに、5月の総会の際の再会を約束しまして挨拶いたします。

深浦町もそれらを視野に入れた対策、施策を検討しており、今後、皆様のご協力をいただくこともあろうかと思っております。その際はよろしくお願ひ申し上げます。



にしました。今回は会場等の都合も重なって、五月四日(休日)の連休の真っ只中になってしまいました。

あ味の、この味、忘れられない味。あの人、この人。ぜひ今年も会いたい人。一つ一つの懐かしい出会いが、ふるさとの味が、故郷を遠く離れて働く励みに、生きる喜びにつながっていくことを確信しています。

今年の五月の連休は、迷わずに家族揃っての「ふるさとの味・ふるさとの人めぐり」のお楽しみコースをお選び下さい。再会を心から楽しみにお待ちしております。

な資源を活かし、観光資源を積極的にPRしつつ、第一次産業の新鮮な農林水産物と連携させ、県が進めている施策でもある「攻めの農林水産業」の主旨を踏まえ「地産地消」を推進したいと考えております。

第二の人生をふるさとでがんばっていただこうということ今年度から田舎生活の体験などいろいろな定住促進対策を実施することになって

ます。

深浦町もそれらを視野に入れた対策、施策を検討しており、今後、皆様のご協力をいただくこともあろうかと思っております。その際はよろしくお願ひ申し上げます。

今年度は、深浦町にとりまして実質的な施策を展開しなければならぬ重要な年であり、町政運営につきましては出来る限り、皆様に広く情報をお伝えし、相互理解と共通意識を持ち、様々な角度から「まちづくり」に向けて邁進してまいりたいと思っております。

最後にになりましたが、会員の皆様におかれましては、健康に留意され、今後益々の活躍を祈念することともに、5月の総会の際の再会を約束しまして挨拶いたします。

深浦町もそれらを視野に入れた対策、施策を検討しており、今後、皆様のご協力をいただくこともあろうかと思っております。その際はよろしくお願ひ申し上げます。

平成18年度深浦町イベント日程表	
開催日	イベント名等
平成18年 4月28日(金)	深浦町山開き・白神春もみじまつり(十二湖) (登山客や森林浴に訪れる観光客の災害、交通事故等の撲滅を願い、安全祈願する。)
7月9日(日)	第31回白神登山大会・白神春もみじまつり(白神岳) (白神岳へ登山し健康増進を図る)
7月14日(金)	海開き安全祈願祭(岡崎海岸) (町内海水浴シーズンの幕開けを広くPRする)
7月30日(日)	第17回影の浜ビーチバレーボール大会(大間越影の浜海岸) ※町体育協会 (スポーツ振興と海岸愛護の思想啓発を図る)
8月14日(月)~15日(火)	黄金の日本海「深浦海まつり」(夕陽公園) ※実行委員会 (お盆期間中の帰省客並びに観光客のいこいの場の提供)
8月24日(木)	いわさき賽の河原大祭(森山海岸) ※町観光協会 (森山海岸の賽の河原でイタコの口寄せ等を行い、観光客の誘致を図る)
9月24日(日)	夕陽海岸マラソン大会(ウェスバ椿山) ※実行委員会 (町のリゾート施設であるウェスバ椿山にて健康増進のためマラソン大会を実施する)
10月21日(土)~22日(日)	津軽深浦チャンチャンまつり(夕陽公園) ※町観光協会 (一次産品の消費拡大等による地域の活性化を目指す)
10月中旬~11月上旬	十二湖紅葉ウィーク(十二湖)(予定) (津軽国定公園十二湖の紅葉を村内外にPRし誘客促進と町の活性化を図る)
12月9日(土)~10日(日)	第19回ヨールブッキまつり(サンタランド白神) ※実行委員会 (北欧フィンランド国ラヌア郡と姉妹都市を締結している当町でサンタクロースの祭りを開催し子供たちに愛と思いやり、そして希望を与えるメルヘンチックなまつり)
平成19年2月(毎週土曜日)	グルメinふかうら(深浦町内) ※町観光協会 (一年で最も豊富な魚種が水揚げされる時期に町内各宿泊施設において冬季におけるツアー誘客を図る)
3月25日(日)	福寿草まつり(サンタランド白神) (町の花である福寿草を主とした花木の販売や、郷土料理でお客さんをもてなし冬季の誘客を図る)

平成18年4月吉日

会員各位

お知らせ

「深浦会東京」第14回定期総会・交流会の開催について

深浦会東京 会長 小野 秋夫

拝啓

陽春の候、皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃、当会の運営につきましてご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、第14回定期総会・交流会を下記のとおり開催いたします。深浦町からも町長をはじめと多数の方々に参加されますので、万障お繰り合わせのうえ、ご出席下さいませようご案内申し上げます。 敬具

記

- 日時 平成18年5月4日(木)午後1時より
- 場所 きゅりあん(品川区総合区民会館)
東京都品川区東大井5-18-1
☎ 03(5479)4100
- 交通 JR京浜東北線大井町駅下車南口徒歩1分、東急大井町駅下車徒歩5分
- 会費 1人6,000円(年会費2,000円を含む)
同伴家族1名増すごとに3,000円加算。
但し高校生以下は無料。
- 申込方法 同封の「はがき」に必要事項を記入し、4月20日までに
ご返送下さい。

※当日、ご出席できない方は年会費(2,000円)を別紙郵便振替払込書にてお振り込み下さい(平成17年度振込実績150名余)。なお、振込手数料は、当会にて負担いたします。

※「広報ふかうら」の新規購読をご希望される方は、別紙郵便振替払込書にて購読料(2,000円/年)をお振込み下さい。

振込手数料は当会にて負担いたします。

※会場でのスナップ写真の撮影は致しませんので、写真を撮られる方は、インスタントカメラ等をご持参下さい。

以上



スロージョギング
 健康な生活を送るには、適度な運動が必要です。スロージョギングは、初心者でも無理なく始められる運動です。歩くスピードを遅くし、呼吸を整えながら歩きましょう。心拍数を上げすぎないように注意してください。また、運動前後にはストレッチを行い、怪我を予防しましょう。

連載② 健康
スロージョギングで、日本が元気だ!
 医療費の逼迫で、米国の大手GMのような大会社までが潰れてしまいかねない。昨今、日本では団塊世代の高齢化によって、近未来に医療・介護費で国が破綻しかねないと懸念されています。しかし団塊の世代だからこそ、一致団結してみなが「健康への道」を歩みつづけるなら、

国際スロージョギング協会 副代表 奈良岡 絢子

スロージョギングで、日本が元気だ!

ば、日本は健康的な素晴らしい国に変身します。これまで高齢者は病気になるまで、医療・介護が必要とするものだとばかりきめていたから、そのような心配が、生まれながらにわたったのです。生涯健康で楽しく元気に人生をまっとうされた方々は多く、その方々は自らを鼓舞し、体を動かかし、人様に迷惑をかけずに生きぬくことへの執念を燃

「青春回帰」です。「私の喘息も「スロージョギング」の継続によって、これ以上の悪化を食い止めることができましたし、内服薬も5分の1以下に減りました。喘息の治療薬ステロイド剤の副作用にも、この2本の足で果敢に挑んで克服しました。こんな嬉しいことはありません。世の中便利になりました。人は元来「健康」でありつづけた」と願う一方で、「薬をしない」という意図的な心が先行しがちです。その心を見透かすかのよう、利便性を追求した文明の利器が次から次へと開発され、人は額に汗して手足を動かさなくてもいいように、楽な方へ楽な方へと導かれてつづけたのです。車、掃除機、洗濯機、食器洗い機、エレベーター、エス

予防医学の権威者・川上立太郎医学博士94歳は、増えつづける生活習慣病：高血圧、糖尿病、高脂血症、肥満、骨粗しょう症、ガンなど……に埋もれて身動きがとれない現代社会を憂え、その原因を求めて、自ら食生活にばかり求めず、世の風潮に対して警告を発しておられます。「諸悪の根源は身体の不活動にあり」と。

エレベーターも歩く歩道も、それをやむなく必要とする人たちのものです。階段とエスカレーターが並んでいたら、当然のごとく階段を上る。こんなささいなことでも、日常生活の中で一人一人がきちんと健康を意識して行動しつづけるならば、病気の六〇％も占める生活習慣病が、この世から消えてなくなってしまうのです。医療費も介護費用も激減します。日本が明るく元気になるためには、私たち一人一人の自覚と努力と継続以外に方法はありませぬ。

家族みんなでスロージョギングを日課にし、「生涯健康」を是非ともこの「足」で勝ち取りましょう!! 少しでも元気で日本を元気にしましょう。

昨年の総会・交流会から



大抽選会 (西崎町長より)



抽選会の様子 (安美錦岡より)



交流会風景



交流会終了の様子



安美錦岡・安壮富士関が参加

広報「ふかうら」購読料二重払いリスト (順不同)

下記の方は、平成18年度分の購読料を既に受領しておりますので、今年度分の振込は不要です。

福沢岸本	豊治真紀子	石巻志保子	二宮文勝	長谷川兵次郎	的場と	あき
世永	福沢山小野	石巻志保子	二宮文勝	長谷川兵次郎	的場と	あき
山下	石崎藤田	石巻志保子	二宮文勝	長谷川兵次郎	的場と	あき
小野	石崎藤田	石巻志保子	二宮文勝	長谷川兵次郎	的場と	あき
石崎	藤田	石巻志保子	二宮文勝	長谷川兵次郎	的場と	あき
藤田	黒滝	石巻志保子	二宮文勝	長谷川兵次郎	的場と	あき
黒滝		石巻志保子	二宮文勝	長谷川兵次郎	的場と	あき

◆ 連載 ◆

深浦の文化遺産 ②

森山 嘉蔵



3. 千石船の船絵馬と番額
 鎌倉・室町・戦国時代から江戸時代の初め頃までは、主として帆と櫓で進む北国船での交易であり、江戸時代の中頃から明治初めにかけては、北前船とか千石船と呼ばれる大型帆船(辨子船とも)が日本海を上り下りし、湊町は大いに栄えていた。
 深浦は帆船の風待ち湊として大の北前船が上り下りの順風が吹くのを待つ湊であった。良い風が吹くまで船乗り・商人で賑わう深浦湊であった。(千石の船とは現在の百五十トン級の船をいう)
 航海中に海が荒れたと、北前船はしばしば海難事故となって尊い人命や船・積荷が海底に沈んだものである。

4. 関の古碑群と壘杉
 北金ヶ沢港は中世の頃には「西の船関」と呼ばれていたようである。その頃この地には広大にして堅固な「折曾乃関館」が築造されていた(20号深浦の歴史参照)。館主は十三湊安藤氏の一族と考えられている。北の海世界に水軍幕府として君臨し、巨艦を蓄えて朝廷や幕府からも重要視された安藤氏の、西浜一帯支配の中核となっていた地と考えられている。それは南北朝時代から室町時代の頃であった。
 この地に居住した安藤氏に採る人々には、死者の冥福を祈って供養碑を建立している。供養碑(板碑とも)は現在四十五基と推定され、昭和三年(一九三〇)から昭和八年(一九四〇)と碑面の記年号に彫られている。また、碑面の文に「安倍(安藤氏の本姓)」という姓が多いことから、この時代の十三湊安藤氏の物領であった(安藤系の人々の供養碑であろうと考えられる)。

事務局からです

1. 年会費の納入のお願い

総会・交流会に参加できない方は、同封の郵便振替用紙にて、平成18年度分の年会費2,000円のお振込みをお願い致します。振込手数料はいりません(当会負担)。

2. 「広報ふかうら」購読申し込みご希望の方へ

深浦町で毎月発行しております。ふるさとの情報がいっぱい会員には好評です。ひきつづき購読希望の方、新規購読希望の方は同封の郵便振替用紙にて、年間購読費2,000円をお振込みください。振込手数料はいりません。(当会負担)

3. 投稿のお願い

「深浦会東京だより」への投稿を募集しております。内容は一切問いません。投稿ご希望の方大歓迎。活字数……600字位、写真をそえてください。事務局迄ご郵送ください。

4. 住所変更、姓名が変わった方は忘れずに事務局迄ご連絡してください。

5. 名簿提出のお願い

当会では、町出身者にできるだけ沢山ふるさとのたよりを届けるべく努力しておりますが、まだまだ、名簿もれの方が多数おられるようです。同期会、同窓会等の名簿をお持ちの方は事務局迄ご連絡いただきたくお願い申し上げます。

6. 会報への「広告」を募集しています。

ご希望の方は事務局迄ご連絡ください。